来賓挨拶

斉藤鉄夫　国土交通大臣

本日、全国からお集まりの皆様には日頃より国土交通行政、特に道路行政に対するご理解・ご支援を賜り、あらためて厚く御礼申し上げます。今年も台風や線状降水帯による大雨などにより全国各地で甚大な被害が発生しています。国民の生命・財産を守るため、激甚化・頻発化する災害への備えが必要であるとあらためて認識をしております。

現在、全国で防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づき、道路ネットワークの整備や老朽化対策などを進めております。これまでに3年目までの予算が措置され、着実に効果が出て来ていますが、今後もこれまでのペースを緩めることなく取り組みを継続し、自然災害に屈しない国土づくりを進めることが重要です。

併せて、5か年加速化対策後も中長期的かつ明確な見通しの下、継続的・安定的に切れ目なく取り組みを進められるよう先の国会で成立した改正国土強靱化基本法に基づき、施策の実施状況の調査など国土強靱化実施中期計画の策定に向けた検討を進めて参ります。

また、災害への備えのみならず、生産性向上に資する国内投資を呼び込めるよう国土幹線道路ネットワークを構築していく必要があります。7月に閣議決定された国土形成計画に従いミッシングリンクの解消、高速道路の4車線化、ダブルネットワーク化を進める他、利用者目線での渋滞対策や、休憩施設の機能強化、中継輸送拠点の整備を推進するなど、安全で円滑に人や物が移動出来る環境の確保に努めて参ります。

更に、通学路などの交通安全対策に早急に取り組むとともに、安全・円滑な交通の確保や、良好な景観形成に資する無電柱化にも取り組んで参ります。

加えて、建設資材価格の高騰や賃金水準が上昇する中でも、道路整備や管理等を着実に進められるよう、しっかりと必要な予算を確保しなければなりません。

そのためには皆様の力強いお力添えが不可欠です。国土交通省としましては、皆様方の幅広いご意見を賜りながら、国民の皆様の安全・安心の確保、災害に屈しない強靱な国土づくりに取り組んで参りますので、なお一層のご理解・ご支援を賜りますようお願いをいたします。

来賓挨拶

長坂康正　衆議院国土交通委員長

先程、斉藤大臣もご挨拶で触れられましたが、災害への備えに加え、生産性向上により国内投資を呼び込むためには幹線道路ネットワークの構築が不可欠であります。また、古賀誠会長は、道路は希望だとおっしゃって頂きましたけれども、私の地元でも物流、交通の速達性、定時性の向上や災害時におけるリダンダンシー確保のため、名古屋港への新たなアクセスルートとして一宮西港道路の整備が必要との強いご要望を頂いております。全国各地に色んな課題がある訳であります。

そして、激甚化・頻発化している自然災害への対応はもとより、国内投資の促進を図り、地域経済の発展を支えるためにも幹線道路ネットワークの整備は喫緊の課題であります。

また、地域における取り組みとして、大規模災害時に国土交通省地方整備局より職員や資機材を派遣し、被災自治体の支援を最前線で行なっておりますが、地域の安全・安心の確保のため、こうした取り組みを更に充実・強化していく必要があると考えております。

加えて、道路インフラの老朽化対策、子供の安全・安心を守る通学路の交通安全対策、バリアフリー化など安全で快適な交通空間の形成に向けて取り組むべき課題が山積しており、早急な対応が欠かせません。

衆議院国土交通委員会といたしましても、皆様方のご意見や決議をしっかりと受け止め、今後ともご期待に沿えるよう最大限の努力を行って参ります。

来賓挨拶

青木　愛　参議院国土交通委員長

本年も台風に伴う豪雨により多くの災害に見舞われ、全国各地に多大な被害が発生しました。災害により犠牲になられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、災害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

私の地元千葉においても、令和元年房総半島台風では、道路の通行止めや電柱の倒壊などが広域的に発生し、水、電気、食料の輸送が途絶え、甚大な被害が発生しました。災害発生時の住民の避難や緊急物資の輸送のため、信頼性の高い道路ネットワークの構築、そして無電柱化の重要性を改めて痛感をいたしました。

圏央道や館山自動車道の整備を始め、全国から切望される安全・安心の道づくりは大変重要であり、災害時のリダンダンシーの確保を始め、様々な効果が期待されます。

これらの事業を着実に推進するためには、それを支える財政的な基盤が必要であり、参議院国土交通委員会といたしましても、安定的な道路予算の確保に向けて全力で努力してまいる所存です。

意見発表

宮崎県知事　河野俊嗣　全国高速道路建設協議会会長

全高速におきましても、ミッシングリンクの解消、暫定2車線の4車線化、スマートインターチェンジの整備等に力を入れてきたところでございますが、これからも引き続き皆様と力合わせていきたいと思います。

全国各地で災害が激甚化・頻発化をしております。今年も台風2号による大雨もありました。九州でも線状降水帯による大雨もございました。宮崎県では昨年、台風14号による700億円規模の大きな被害が発生をしております。

また、11月5日は、津波防災の日でありました。南海トラフへの備えというものも必要になって参ります。

更に、これから冬場を迎えますと、特に北の地域では最近、積雪も短時間に、集中的に、局所的に、24時間降雪量が最高を記録する大変厳しい状況が続いております。その時に人の命を守り、安全を守り、そして経済活動を止めていかないためにも、高速道路・高規格道路をしっかりと整備していくことは極めて重要だと思っております。

そういう中で、先日、改正道路整備基本法の改正を頂いて、料金徴収が2115年まで延長されるということ、大変心強く思っております。あらためて国会議員の先生方、ご尽力を頂いた皆様に心から感謝を申し上げます。

そして、災害に強い国土を造っていく上での国土強靱化の取り組み。3か年、5か年と進んでおります。これをしっかりと必要な予算をこれまで以上に確保して、安定的に進めていく必要があります。改正国土強靱化基本法が成立をして、中長期的な見通しをもってやっていこうと、そのような仕組みが整ったことも大変心強く思っております。これは議員立法で定めて頂きました。あらためて深く感謝を申し上げます。

この国土強靱化を進めるための推進会議の委員に、私も地方を代表して入っております。今日お集りの皆様の思いというものを一緒にしながら、必要な財源の確保、より強い国土、そして必要な道路の整備、高速道路の整備、これからも務めて参ります。

意見発表

川俣純子　栃木県那須烏山市長

栃木県那須烏山市では、烏山和紙という和紙の産業があります。その和紙を網代に組んだ竹に貼り、それを大きく山にして上げて神様を呼ぶお祭り、山あげ祭があります。屋台と山鉾を引いて歩くだけのお祭りではなく、その屋台の中に舞台が隠れています。舞台を出してそこで野外歌舞伎を演じます。その場所が道路であります。ですからガタガタの道路では車輪が壊れてしまいます。どうしても綺麗な道路が必要です。お祭りの伝統や文化を守るのも、道路が大切です。そのためには皆さんと力を合わせて小さな道から大きな道まで心を繋ぐ道づくりをしていきたいと思っています。

令和元年の東北台風では、那珂川が氾濫し、水道や住宅が駄目になり、農作物も駄目になりました。今、一生懸命復興しているところでありますが、改修もまだまだ大きくはされていません。また雨が降ったら同じことです。そうならないために、国がつくば、八溝街道、縦貫道、白河までの街道を考えて下さっています。県でも概略のルートが出来てきます。良かったと思っています。本当に市民も喜んでいます。

災害があった時、大切なのはリダンダンシーの確保やダブルネットワークの構築であり、1本の道ではなく、色々なルートがあるということです。それを国に進めて頂き、地域で広まっていけば、避難の遅れ等もありません。

道路だけではなく、トンネル、橋梁等は10年後には、50年経っている箇所が日本中にあるのではないでしょうか。国土強靱化のおもに陰で点検、調査、修理等を行うことはできます。しかし、もっと整備する箇所や新しく建設する箇所も出てきます。そのためにも、国会議員の皆様、そして道路関係の皆様にお力添えを頂きながら、少しずつ直していきたいと思っております。

先程お話がありましたように、新たな財源の創設、令和6年度道路関係予算の確保を本日お集まりの900名の首長の力を得て、私は声を大にして言いたいと思っています。

道路を良くすれば日本も良くなります。一緒に道路を拡張し、道路をツルツルにし、皆が安全になれるようにしていきましょう。

司会

福島県相馬市長　立谷秀清　道路整備促進期成同盟会 全国協議会副会長

意見交換

内田広之　福島県いわき市長

閉会の辞

広島県東広島市長　髙垣廣徳　道路整備促進期成同盟会 全国協議会会長

決議文朗読

広島県広島市長　松井一實　全国街路事業促進協議会会長

決議

一、国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源について、これまでのペースを緩めることなく、令和五年度補正予算を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進することまた、対策期間完了後においても、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえた上で、切れ目無く、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること

一、激甚化・頻発化する災害に備えるとともに、人流・物流の円滑な移動を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消、暫定二車線区間の四車線化、代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワーク化、重要物流道路の整備などを進め、国土をつなぐ幹線道路ネットワークを構築すること

一、持続可能な維持管理を実現する予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、国土強靱化の事業計画等に基づく橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策を推進すること

一、高速道路の良好なインフラを持続的に利用するため、料金徴収期間の延長による財源を活用し、適切な維持管理と更新事業、暫定二車線区間の四車線化や耐震補強等の機能強化を着実に進めること

また、高速道路料金については、利用に応じた料金制度を基本としつつ、事業者向け割引を継続すること

一、経済活動の生産性向上やカーボンニュートラル推進を図るため、トラック、バス、タクシー等の利用者目線での渋滞対策を推進するとともに、交通ターミナルや休憩施設の機能強化、中継物流拠点の整備及び公共交通の維持・支援を行うこと

一、災害時の緊急輸送路等の安全性の確保や良好な景観形成・観光振興等を図るため、電柱の占用制限も含めた無電柱化を推進すること

一、日本の未来を担う子供達の安全・安心を守るため、通学路等の交通安全対策を強化・推進するとともに、必要な予算を継続的に確保すること

一、地方創生による地域の自立と活性化を促し、将来にわたって安心して快適に暮らせる持続可能な地域づくりを支えるため、地方の都市及び地域拠点のコンパクト化とそれらを結ぶ道路ネットワークの構築、道の駅などの拠点の整備・機能強化、更にはインバウンド回復や国内交流拡大による観光振興とともに、観光地における過度な交通集中による混雑等への対策を推進すること

一、激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局及び事務所等の責務に鑑み、更なる出先機関の体制の充実・強化や災害対応に必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと

これらの項目を踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、国・地方を合わせた令和六年度道路関係予算について、必要な予算の確保を図ること。

また、国土強靱化のみならず、我が国の成長力及び国際競争力の強化、さらには生産性向上の観点からも、公共事業を含む令和五年度補正予算についても必要な予算を確保すること。

令和五年十一月八日

安全・安心の道づくりを求める全国大会